

冷害と景気後退



秋田県知事

佐々木喜久治

今年の県政での大きな問題は、冷害と景気の後退ということだったと思います。七月中旬ころまでの気象は非常に順調で、このままでいくと大豊作になるのではなにか、いろいろな調査からも見られていたのですが、下旬から八月にかけては低温と日照不足が続き、稲作にとって一番大事な時期に異常気象になってしまいました。そして東北地方の冷害の典型的な条件、太平洋側からの冷たい東風によって冷夏がもたらされたのです。そのため、太平洋側からの風の入り易い地域、県北部と山間部に大変な冷害が発生したわけです。

冷害をうけられた農家の方々に心からお見舞いを申し上げます。今、一生懸命、対策に取り組んでいますので、気をおとさず頑張っていたらだきたいと存じます。平場地帯は、冷夏ではありましたが、九月の好天が成育の遅れをとりもどし、病害虫の発生も少なかったために、県中北部から南部にかけては、むしろ豊作型になり、一等米も昨年より多くなりました。この地域では余り米対策に取り組みなければならぬということ、今年の稲作は、冷害と豊作が一緒になってしまいい、まことに複雑な心境であります。

経済状況も問題です。昨年から原油価格の高騰とこれに伴ってとられてきたいろいろな対策は、物価上昇をある程度抑えることができたのですけれども半面、せっかくなりにかかった景気を再び落ち込ませるといふ副作用をおこしてしまいました。公共事業は伸びないし、高金利によって住宅建設が減る、冷夏によって夏場商品が売れないということ、建設業、木材工業、卸売業の経営は非常に厳しくなり、冷害も沈滞感を大きくしているようです。

国も経済政策の手直しをやりつつあるようですが、県としても不況対策に積極的に取り組んでおります。財政再建も大事なことですが、生活の安定が何よりも保ってまいります。石油問題は今小康をどうなるかわかりません。不透明な時代であるだけに、体質の強い中小企業でなければなりません。当面の問題と長い目で考えていく問題とをよくわきまえて皆さまとともに対応していきたいと思っております。

広報 あきた

もくじ

思う……………表紙裏
冷害と景気後退……………佐々木喜久治

●グラフ●工事すすむ東北縦貫道……………1
カメラ・メモ……………6
●県政まんすりい……………7
全県に広がる学びの輪……………10
—10年目を迎えた秋田県の生涯教育—
農業災害に備える……………14
—農業共済のあらまし—
知事に聞く……………16
—冷害農家の救済対策を急ぐ—
—海外研修で初のヨーロッパ視察を開始—
東京の秋田人② 緒野竹師さん訪問……………18

カラ―

手工訪訪⑩ 民芸家具
鷹浜和幸さん(六郷町)……………19
初冬の神宮寺嶽(神岡町)……………20

●⑫ 神岡町……………23
熊取ルポ⑪ すぐれた種畜を畜産農家のもとへ……………26
—秋田県畜産試験場—
がんばってます⑧
技能五輪で優勝の鈴木忠義さん……………28
随想
銀座個展、始末記…………… 皆川嘉左工門……………30
ひろば(けんみんの声/消費生活相談/とうけい疑問)……………32
三二県史・佐竹以外の諸藩⑩……………34
●グラフ●夜を徹して舞う……………35
—霜月神楽(大森町)—
表紙解説・編集室から……………40